

イサーク・レヴィタン『夕べの鐘』1892年

曲目解説

Vocalise

ヴォカリーズ

Sergei Rachmaninoff（1873–1943）　セルゲイ・ラフマニノフ

曲目解説

Vocalise ヴォカリーズ

Op. 34 No. 14 ／ 歌曲集『14のロマンス』作品34 より 第14曲

Sergei Rachmaninoff（1873–1943） セルゲイ・ラフマニノフ

作曲	1915年（同じ年に出版）
原曲の編成	高い声（ソプラノまたはテノール）とピアノ。歌詞はなく、1つの母音で歌う
調・拍子	原調は嬰ハ短調。4分の4拍子に、ときどき4分の2拍子の小節がはさまる。Lentamente. Molto cantabile（ゆっくりと、よく歌って）
この楽譜	標準の運指の版はイ短調に移調。横山真一郎 浄書（IMSLP、CC BY 3.0）の歌の旋律から入力

作曲者

セルゲイ・ラフマニノフは、ロシア北西部の貴族の家に生まれ、モスクワ音楽院で学んだ作曲家・ピアニストです。1897年、交響曲第1番の初演が酷評されて深く落ち込みましたが、ダール博士の治療を受けて立ち直り、ピアノ協奏曲第2番（1901年）で大きな成功を収めました。

1917年のロシア革命のあとは祖国を離れ、主にアメリカで、ピアニストとして活躍しました。20世紀前半を代表する名ピアニストのひとりです。ロシアの教会の鐘や聖歌の響き、息の長い哀愁を帯びた旋律が、作品の大きな特徴です。代表作に、ピアノ協奏曲第2番・第3番、『パガニーニの主題による狂詩曲』、交響曲第2番などがあります。

曲の成り立ち

歌曲集『14のロマンス』作品34の、最後の曲です。曲集のほかの歌の多くは1912年に作られ、ヴォカリーズは1915年に作曲・出版されて、曲集の締めくくりとなりました。ボリショイ劇場のソプラノ歌手、アントニーナ・ネジダーノワに献呈されています。

「ヴォカリーズ」とは、歌詞を使わず、母音だけで歌う歌のことです。もとは発声の練習曲を指す言葉ですが、この曲は練習曲ではなく、言葉のない歌として、演奏会で歌われるために書かれています。歌い手は、好きな母音を1つ選んで歌います。

作曲者自身による管弦楽版もあり、1929年には、ラフマニノフ自身の指揮で、フィラデルフィア管弦楽団と録音しています。今日では、歌よりも、ヴァイオリン、チェロ、フルートなどの器楽で演奏されることのほうが多い曲です。

曲調と聴きどころ

ピアノの静かな和音にのって、旋律が隣り合う音へ一歩ずつ進みながら、途切れずに長く続いていきます。言葉の区切りがないぶん、どこまでも続く息の長い歌になっています。

4拍子の中に、ときどき2拍子の小節がはさまり、拍の区切りを感じさせない、漂うような流れが生まれています。音階を順にたどる動きには、ロシア正教会の聖歌を思わせる響きがあり、嘆きと祈りの両方が感じられます。

曲の流れ （小節番号は、この楽譜の小節番号）

小節	内容
1〜18	前半（くり返す）。主題が静かに歌い出され、7小節の poco più animato（少し動きをもって）から高まって、11小節で f に。17小節の ritenuto で前半を閉じる
19〜33	後半（くり返す）。poco più mosso で始まり、同じ形を少しずつ高めながら、28小節の ff で頂点を迎える。そのあと、ゆっくりと下りてくる
34〜41	結び。旋律が一段ずつ昇りつめ、37小節の rit. で最も高い音域へ。a tempo で歌い下ろし、主音で静かに終わる

音楽のしくみ （かんたんな音楽理論）

調　嬰ハ短調（原調）

ド♯を主音とする短調で、調号は♯が4つ。標準の運指の楽譜は、吹きやすいイ短調に移しています（移調）。

拍子　4分の4拍子（ときどき4分の2拍子）

4拍子の中に2拍子の小節がはさまり、拍の区切りを感じさせない、漂うような流れになります。

言葉のない歌

歌詞がないぶん、どこで息を吸うかが大切です。句の終わり（長い音のあと）で、
歌い手のように息を吸う場所を決めておくと、旋律がつながって聞こえます。

篠笛の楽譜と調について

同じ曲を、全体の高さを同じ幅だけ上げ下げして書き直すことを「移調」といいます。
篠笛は1本ごとに高さが違うので、笛に合わせて調を選ぶと、無理のない指づかいで吹けます。チューナーの「基準 A」は、ラの音を何ヘルツに合わせるかのことで、ふつうは 440Hz です。
笛に合わせて伴奏の基準を少し下げると、笛を無理にカらずに音程がそろいます。

楽譜	内容
標準の運指版	イ短調（原調の嬰ハ短調から長3度下に移調）。運指は「一＝ド」として付けています。 笛だけで吹くなら、何本調子の笛でも同じ指で吹けます（鳴る高さは笛によって変わります）。
おすすめの版	八本半上調子・七本半調子・八本調子（古典調）の笛のための楽譜です。音源と同じイ短調（原曲の嬰ハ短調より短6度上）を吹きます。音源（A＝440Hz）にそのまま合わせられます。 ×の運指は29か所です。一 の高さが近い笛は同じ指で吹けます。 笛の高さは気温や湿気で変わるので、季節やその日の笛の調子によって、 音源と合う笛を選んでください。音ごとのメリ・カリの目安は、実測した八本半上調子の値です（笛によって前後します）。
六本調子版	六本調子（古典調）の笛のための楽譜です。ヘ短調（原曲より長3度上）、チューナーの基準A＝436Hz（全体を25セント低く）。実測した六本調子の笛で、 ×の運指やメリ・カリがいちばん少なく吹ける調を選び、音ごとのメリ・カリの量も書いています（笛によって前後します）。

藤舎名玄　2026